

“できること”を増やしていく

DCD外来はじめました

発達性協調運動症 (Developmental Coordination Disorder : DCD) とは

運動に影響する神経疾患がないにも関わらず、手足の動きなど身体をコントロールする「協調運動」が苦手で
学校生活・遊びなどの日常生活が同年代に比べて困難という特徴があります。

当院のDCD外来では、理学療法士・作業療法士が、お子さまのライフステージに沿った包括的な支援を行い、
その子らしいイキイキとした生活が送れるようサポートします。



対象

対象年齢

満4歳～18歳

対象疾患

DCD(発達性協調運動症)

字を書くのが苦手・時間がかかる、ハサミ・箸がうまく使えないなどの不器用さや、姿勢を保持するのが難しい、体育が苦手など手先の器用さや運動面で気になることがあればご相談ください。

ご挨拶



DCD外来担当
黒川医師

DCD(発達性協調運動症)は、まだ認知度は低いですが、二次的な不安や抑うつ、引きこもりなど心理面への影響も大きい疾患です。桜十字大手門病院には、小児リハのリハビリ専門職による包括的な支援が可能です。DCDにおける福岡の拠点となるよう、チーム一丸で精一杯取り組んでいきますので、お気軽にご相談ください。

※DCD外来は月1回実施しています。

※DCD外来以外の方は水曜午後も対応可能です。

ご利用の流れ

お問い合わせ

まずはお電話かLINEにてお問い合わせください。

予約する

診察は月1回、9時30分から12時30分となります。

リハビリ開始

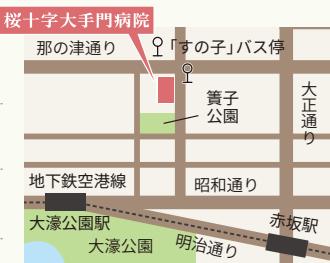
医師の診察後、セラピストとともに訓練を開始します。

アクセス

地下鉄空港線をご利用の場合
地下鉄「大濠公園駅」より徒歩5分

西鉄バスをご利用の場合
西鉄バス「すの子」バス停より徒歩1分

お車をご利用の場合
福岡都市高速「西公園」ICより4分



※駐車場のご用意はありません。近隣のパーキングか、公共交通機関をご利用ください。



桜十字大手門病院

〒810-0074 福岡市中央区大手門3丁目15-1

お問い合わせ

TEL 092-753-3700 (担当:椎葉)



お問い合わせ
LINEでも